

NATAS HOLIDAYS 2012 で聞いてみました ～シンガポールの訪日旅行事情～

シンガポール事務所

1. NATAS HOLIDAYS 2012 とは

NATAS HOLIDAYS とは、シンガポール全国旅行業協会 (National Association of Travel Agents Singapore: NATAS) が毎年 8 月に開催する一般消費者向けの国際旅行フェアです。旅行会社主催のパッケージツアーや航空券の販売、各国政府観光局による情報提供等が行われています。入場料 S\$4 を払う必要がありますが、NATAS 期間限定の特別料金や特典が用意されているため、「旅行に行くなら NATAS で買う方がお得!」ですし、次の旅行のための情報収集も一挙にできてしまいます。



NATAS HOLIDAYS 会場前

今回は 8 月 24 日 (金) から 8 月 26 日 (日) まで三日間開催されました。主催者発表によると、期間中の来訪者数は約 65,000 人となりました。前年 8 月開催の約 67,000 人から来場者数は減っていますが、売り上げは約 1 億 80 万シンガポールドル (約 64 億円、S\$1=63 円) と前年度に引き続いて過去最高を更新しています。

日本の取組としては、観光庁と日本政府観光局 (以下、JNTO) がジャパンパビリオンを出展し、秋の紅葉をイメージした装飾とともに、日本の魅力を総合的に発信するとして、自治体・民間一体となって、訪日旅行に関する情報提供を行いました。

2. シンガポールの旅行傾向

国土が南北約 23 km、東西約 42 km、面積 712.4 km²の小さなシンガポール。「旅」と言えば、それは、海外旅行となります。シンガポール人の出国者数を人口で割ると、皆さん年に 2 回は海外旅行に出かけている計算になるほど、旅は娯楽の一つです。家族での旅行が多いこともあり、5 月下旬から 6 月下旬と 11 月中旬から 12 月末の学校休暇の時期には、日本への旅行者も増加します。



ジャパンパビリオン

今回の NATAS における国別販売状況は 1 位ヨーロッパ、2 位中国、3 位韓国、4 位台湾、そして 5 位に日本が入りました。震災前は 3 位に入っていたことから、いまだ訪日旅行は回復していない状況です。また、JNTO によると、日本国内のエリア別販売状況は、

他の追従を許さない 1 位北海道、2 位関東、3 位中部／北陸、5 位関西、以下は大きく差をあけて、九州と続きました。

3. 日本での楽しみは？

ジャパンパビリオン来場者に訪日旅行で楽しみにしていることについて、尋ねてみました。訪日経験がない方については、どこに行ったらいいのか、まず教えてほしいとのことでしたが、訪日経験がある方は、日本食、自然（紅葉や雪。8月の NATAS は秋・冬の旅行を主な対象としています。）を挙げられました。

シンガポールでは食材を日本から輸入した高級日本食レストランから、うどん、お好み焼き、たこ焼きといった B 級グルメまで、日本食の裾野が広がっています。日本の各地域の物産フェアも盛んに開催されており、価格さえ気にしなければ日本と同じものを手に入れることができます。近年ではラーメンも大人気で、新たな店が続々と進出しており、日本でのご当地ラーメンが、シンガポールでは簡単に食べ歩くことができるほどです。広く受け入れられている日本食の“本場の味”は訪日動機になるかもしれません。

4. ルートとチケットはどうしましょう？

「日本に行ったら、東京、大阪・京都、高山、海の上に赤い鳥居が立っているところ、富士山が見たいです。滞在期間は 1 週間を予定しています。もちろん目的地周辺のおすすめも紹介してください。」こんなご質問をいただくと、まずは、日本地図を広げます。各地の場所を特定しながら、周辺の情報や、モデルコース付のパンフレットで、スポット紹介も合わせて、日本の多様な魅力と広さをご説明します。



ビジットジャパンカウンター

また、シンガポールの皆さんは、移動には「JR パス」が便利ということを認識されています。ですが、JR のエリアパスで訪れたい目的地が全てカバーできるか、効率良く回るためには、どの路線を使えばよいかまで研究している訳ではありません。目的地まで JR パスが使えない場合もあるということの説明するのは、一苦勞です。加えて、個人手配旅行が増えてきたシンガポールでは、目的地も日程も誰一人として同じではありません。ルートと、どのチケットが一番安いか紹介してほしいと言われると、どれも一長一短があったりして、毎回、頭を悩ませます。すべてのエリアが NATAS に出展することで細やかな案内ができるようになる、もしくは、全エリアでスポットだけではなく、モデルコースも含めたパンフレットをご用意できると、悩みも減るかなと思ってしまいます。

5. 放射能について

震災から既に1年以上が経過していますが、今回の NATAS においても、放射能に対する懸念の声が聞かれました。日本のニュースは良くも悪くも、世界のニュースとしてシンガポールでは大きく扱われることが多く、震災以降、放射能の問題、洪水等といった自然災害に関するニュースについても広く伝わってきます。

「Fukushima」と「Tohoku」は現在でも被災地として強く認識されています。

JNTO によると、2012 年シンガポールからの訪日旅行者 1 月から 7 月の累計 2010 年比は 14.7%の減少率であり、訪日旅行全体の減少率 3.6%を大きく上回る状況が続いているとのこと。地震・台風等の被害がほぼないシンガポールにおいて、震災をはじめとする災害や放射能の問題は訪日旅行を敬遠する漠然とした不安要因になっているようです。日本の地理や広さ、安全性までは情報が伝わっていない場合があると思われます。



賑わう仙台／東北ブース

6. 日本を旅して

NATAS では、JNTO のビジットジャパンカウンターに入っていると、日本全国を旅して、行きつくしたけど、さらに日本に行きたいと話される方と多く出会います。日本の食、自然、気候はもとより、日本人の気質、礼儀正しさが良いと褒めたたえられます。観光地も素晴らしいけれど、自分で運転をして旅する田舎も良かったし、熱帯気候のシンガポールからすれば、外が「天然のクーラーで涼しい」というだけでも魅力になるそうです。冬の京都を旅して、身を震わせながら「恐ろしいくらい寒かったのよ～」とすてきな笑顔とともに喜んでいただけている様子には、こちらまでうれしくなる思いです。日本人にとって当たり前のことが十分吸引力になる日本の魅力、変化に富んだ地方の魅力を引き続き当地で発信していきたいと思えます。

なお、NATAS HOLIDAYS 2012 に関する報告書はシンガポール事務所のホームページ (<http://www.clair.org.sg/j/reports.html>) でご確認ください。

(原田所長補佐 山口県山口市派遣)